

# ウスゲチョウジタデ

公益財団法人日本植物調節剤研究協会研究所  
飯田 華代

*Ludwigia epilobioides* Maxim. subsp. *greatrexii* (H. Hara)  
P. H. Raven (異名: *L. greatrexii* (H. Hara) H. Hara)  
アカバナ科 チョウジタデ属。

ウスゲという語感、さも本体よりも毛が薄い状態を指すように思われるが、チョウジタデの方に毛があるわけでは無い。チョウジタデが、問題雑草として取り上げられることはあまりないが、稀に何らかの要因で、水田に多発することがある。本種の存在があまり知られていないため、チョウジタデだと思っていたら実は本種だったということもあるようだ(写真-1)。当協会研究所(茨城県牛久市)の周辺の農家水田では主にウスゲチョウジタデがみられ、同千葉支所(千葉県山武市)の「チョウジタデの多発圃場」においても、ウスゲチョウジタデが多く確認されている。

## ■分布

東京近郊の本州東部から九州、沖縄に分布し、母亜種チョウジタデ(subsp. *epilobioides*)と混生することもある。東南アジアを含むチョウジタデの分布域で、日本以外でのウスゲチョウジタデの存在は判然としない。

## ■形態と見分けるポイント

1941年に東京大学の原寛氏によりチョウジタデに類似の新種として発表され(原 1941)、現在ではチョウジタデの亜種に扱われる(Hoch & Raven 1999)ものの、「がく片がやや長く、5枚」などの性質を重視して別種とする見解が採用されることもある(天野 2003)。

ウスゲチョウジタデは、茎は低い稜を持ち、直立して分岐し、高さ80cmほどになる。茎葉の形態はほぼチョウジタデと同様であるが、茎と葉の若い部分に細毛が生え、茎はチョウジタデに比べるとあまり紅色を帯びない点で、開花前でも識別できる(写真-2)。夏から秋にかけて、葉腋に直径1cmほどの黄色い花を一つ付ける。花卉は通常5枚で、花盤に白毛を生じる。果実は長さ2cmほどで無柄の円柱状、先端にがくが残り、チョウジタデと同様にスパイスの「丁子(チョウジ)」に似た形となる。種子は長さ0.8mmほどでチョウジタデより小さく、チョウジタデと同様に果実がくずれて白色の内果皮片に包まれた状態で散布される。幼植物では、チョウジタデよりわずかに小ぶり、あまり紅みを帯びない傾向にあるが、そこに明確な差異はなく、判断は難しい(飯田ほか 2016)。

## ■雑草としての情報

チョウジタデは、水田や休耕田、湿地に生育し、水田では畦畔際や落水時に田面が露出した場所に多い(浅井 2015)



写真-1 農家水田に多発したウスゲチョウジタデ 畦から黄色の花を確認できる



写真-2 水田畦畔に生育するウスゲチョウジタデ(左)とチョウジタデ(右)

とされているが、ウスゲチョウジタデについて、これとの違いは分かっていない。環境省の2012年版レッドリスト(RD)で「準絶滅危惧(NT)」に含められる。自治体段階でも国と同様か、あるいは評価区分を引き上げる場合もあるが、「水田雑草としてしばしば出現する」ことを理由に保護対象としない場合もある。茨城県牛久市においても、「絶滅危惧IA類」と指定されたものの(村中ほか 2006)、のちに解除された。

## ■防除に関する情報

はじめに記したように、現在使用されている水稲用除草剤でチョウジタデが残存することは少ないが、関東地方以西の地域で残存した場合に、その雑草がウスゲチョウジタデか、またはチョウジタデかという亜種の段階までは確認されていない。ウスゲチョウジタデは、水田雑草としてよく知られたチョウジタデより数が少なく保護されるべき弱い植物なのか、あるいは水田の管理の仕方によってはチョウジタデより多数発生する雑草性を持っているのか、水田での発生実態や発生生態の特徴は調べられていない。これらの点をチョウジタデとの対比で検討する必要がある。

## ■参考文献

- 天野誠 2003. 『アカバナ科(千葉県史料研究財団編、千葉県の自然誌別編4 千葉県植物誌)』. 千葉県, pp.394-405.
- 浅井元朗 2015. 『植調雑草大鑑』 全国農村教育協会, p.67.
- 原寛 1941. 東亜植物考(其十九), 植物研究雑誌 17:335-347.
- Hoch, P. C. and P. H. Raven 1999. 『ONAGRACEAE in Flora of Japan II c edited by K. Iwatsuki et al.』, Kodansha, Tokyo, pp.224-246.
- 飯田華代ほか 2016. 茨城県牛久市における水田雑草ウスゲチョウジタデの生態と形態に関する予備的調査, 日本雑草学会第55回講演会要旨集 p.89.
- 村中孝司ほか 2006. 『牛久市版レッドデータブック 牛久における絶滅のおそれのあるある野生生物<植物編>』 牛久市建設部緑化推進課